

広島市植物公園

見どころ案内

ルリタマアザミ (キク科)

西アジア原産の多年草。ヒゴタイの仲間で瑠璃色の頭状花を咲かせています。園芸店でも切花として販売されています。

オミナエシ(オミナエシ科)

黄色い花が咲き始めました。秋の七草の一つ。

カカオ

(アオギリ科)
熱帯アメリカ原産。幹に多くの淡い赤紫色の花を直接つけています。果実はチョコレートの原料。

トーチジンジャー

(ショウガ科)
東インド～インドネシア原産の多年生植物。薄い橙桃色の花を10輪ほど咲かせています。

ハンキングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンキングバスケットができました。白色を基調にカラジウム、ニチニチソウ、ユーフォルビアなどを使い夏バージョンに仕上げました。
[日本ハンキングバスケット協会 ハンキングバスケットマスター作]

ヒゴタイ

(キク科)
球状の蕾が銀白色から紫色になり、咲き始めとなりました。絶滅危惧種。

ヤチシャジン (キキョウ科)

明るい湿地に生える多年草。青紫色の花が咲き始めました。絶滅危惧種。

アネモネ・フペヘンシス

(キンポウゲ科)
中国原産。薄桃色の花が咲いています。そっくりな秋明菊は、この変種になります。

キバナコスモスの迷路

(キク科)
メキシコ原産の一年草。オレンジ色、黄色の花が2000本咲いています。品種はブライトライト。

ハス (ハス科)

インド原産多年生水生植物。白や桃の花が咲き始めました。環境の変化により個体数が減少しています。

ノアサガオのカーテン (ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

